

国史跡山王罎遺跡の研究 I

漆器編

2020年

弘前大学人文社会科学部 北日本考古学研究センター

国史跡山王罎遺跡の研究 I

漆器編

2020年

弘前大学人文社会科学部 北日本考古学研究センター



卷頭写真 2 籃胎漆器



卷頭写真3 漆櫛



卷頭写真4 漆櫛



卷頭写真5 垂飾



卷頭写真 6 籃胎漆器



卷頭写真 7 漆櫛と耳飾

例 言

1. 本書は、宮城県栗原市（旧栗原郡一迫町真坂字山王）に所在する国史跡山王圀遺跡の1965年第2・3次発掘調査出土遺物の研究のうち、出土漆器の保存処理・調査・分析成果の報告書である。
2. 本書の対象は、胎を植物質とする漆器で、漆櫛、籃胎漆器、耳飾、垂飾、腕輪、漆塗繊維製品、編布、漆塗樹皮製品が該当する。そのほか胎を動物骨や貝、土器とする漆器については、今後の研究報告書にまとめる。
3. 本研究は、2016年に栗原市教育委員会と弘前大学北日本考古学研究センターとの間に5ヶ年計画で結んだ研究協定「史跡山王圀遺跡の漆工芸研究」に基づき2015～2019年度に遂行した。また、X線CT撮影の技術協力として東北大学総合学術博物館と連携した。
4. 本研究を遂行するにあたり、調査・所蔵機関、個人には資料の照会や提供、過去の調査や保存処理の情報の提供、X線CT撮影の技術協力のご協力を賜った。記して感謝申し上げる。
個人 阿子島香、大場亜弥、小川忠博、鹿納晴尚、鹿又喜隆、斉藤慶吏、佐々木理、澤田正昭、須藤隆（五十音順・敬称略）
機関 東北大学総合学術博物館、東北大学文学部考古学研究室（五十音順）
5. 本報告書の執筆は、第1章を関根達人、第2章を上條信彦・片岡太郎、第3章と第5章を片岡太郎、第4章を上條信彦がそれぞれ担当した。巻頭写真は、1・4～7が小川忠博、2・3が上條信彦の撮影である。そのほか、出土状況など調査当時の写真は、伊東信雄教授（当時）を中心とする東北大学文学部考古学研究室による撮影である。なお、本文中における個人の敬称は省略した。なお担当と参考・引用文献は章末に付した。
6. 本書の実測・トレース・撮影は上條を中心に日本考古学ゼミナール、保存処理・理化学的分析は片岡を中心に文化財科学ゼミナールの学生が参加した。
7. 遺物は栗原市教育委員会所蔵である。本研究のデータは、弘前大学人文社会科学部北日本考古学研究センターで保管している。また、X線CT撮影データは、弘前大学人文社会科学部北日本考古学研究センターと東北大学総合学術博物館において保管している。
8. 本書に関わる調査結果についてはすでに口頭発表、ニュースレターにおいて公表してきているが、記載内容に齟齬がある場合は本書が優先する。
9. 本研究は、弘前大学人文社会科学部のプロジェクト予算およびJSPS科研費16K16338若手研究(B)「X線CTを使った縄文時代の漆器製作技術の体系化」（代表 片岡太郎）の助成により実施した。

目 次

巻頭写真

例言

目次

第1章 研究の経緯と目的	関根
第1節 研究の経緯と目的	1
第2節 遺跡の位置とこれまでの調査概要	2
第3節 1965年発掘調査区の層序と検出遺構	4
第2章 分析の体制と経過	上條、片岡
第1節 調査の体制	13
第2節 考古学的分析の方法と経過	14
第3節 自然科学的分析・保存処理の方法と経過	15
第4節 研究成果の公表	16
第3章 保存科学的研究	片岡
第1節 資料の状態と過去の保存処理	19
第2節 保存処理方針	19
第3節 保存処理の経過と結果	20
第4章 形態学的研究	上條
第1節 漆櫛	25
第2節 漆櫛のまとめ	30
第3節 籃胎漆器	30
第4節 耳飾	33
第5節 垂飾	34
第6節 腕輪	34
第7節 漆塗繊維製品	35
第8節 編布	36
第9節 漆塗樹皮製品	36

第5章 自然科学的研究	片岡
第1節 漆櫛	42
第2節 漆櫛のまとめ	50
第3節 籃胎漆器	51
第4節 耳飾	53
第5節 垂飾	53
第6節 腕輪	54
第7節 漆塗繊維製品	54
第8節 編布	54
第9節 漆塗樹皮製品	54
山王冢遺跡漆器観察表	57
図版	61

国史跡山王冚遺跡の研究 I

漆器編

2020年3月30日 初版発行

著者 片岡太郎・上條信彦・関根達人

発行 弘前大学人文社会科学部 北日本考古学研究センター

〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地
TEL 0172-39-3190 (直通)

印刷 やまと印刷株式会社

青森県弘前市神田4丁目4-5
TEL 0172-34-4111 (代表)

The SANNOGAKOI site I

THE JOMON LACQUERWARE

2020

Research Center For Archaeology of Northern JAPAN, Hirosaki University